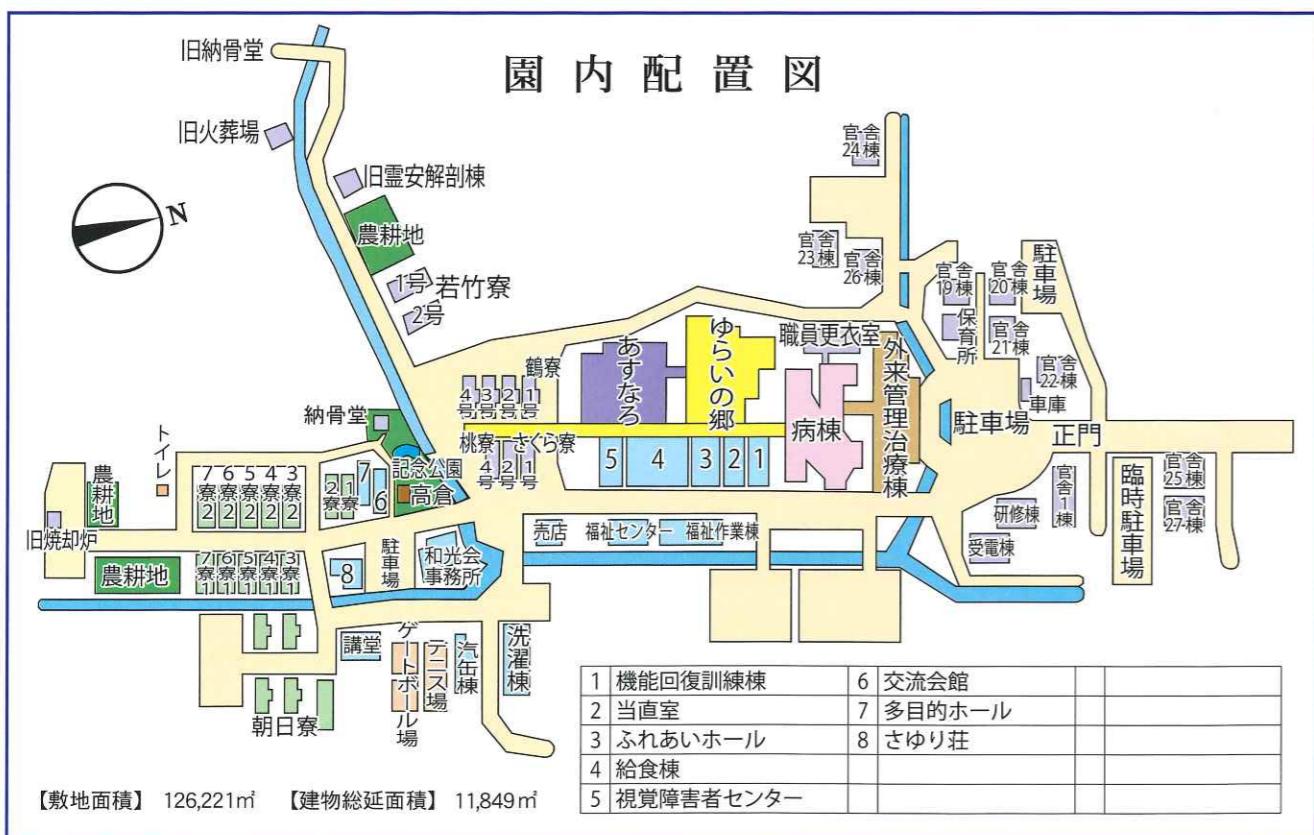




国立療養所 奄美和光園



〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
TEL (0997) 52-6311 FAX (0997) 53-6230

看護と介護

ようこそ和光園へ

奄美和光園は、昭和18年4月5日に現在の地に開設され、国立ハンセン病療養所として厚生労働省が管理運営しています。この療養所の中で日々の生活を送っている人々を総称して“入所者”と呼んでいます。国立ハンセン病療養所は全国に13施設あり、和光園はその中で、入所者数が一番少ない施設となっています。和光園は三方を急峻な山々に囲まれ、その麓に細長く広がる形で存在しています。かつては人里離れた山間の地でしたが、平成17年に和光トンネルが開通し、今では旧名瀬市街地から車で5分の距離となりました。園内は奄美固有の植物で彩られその中を多くの野鳥が飛び交い、豊かな自然が南国特有の風情を醸し出しています。その中で入所者の方々は静かに暮らしています。今ではその数は23名となり平均年齢は86.6歳となっています。（令和元年9月1日現在）。

かつて入所者を苦しめたハンセン病は、細菌の感染によって起こる慢性の感染症であることがわかり、既に治療薬で治っています。しかしながら、多くの入所者には後遺症が残り、その対応が必要となっています。この後遺症には、眼の障害や手足の障害の他に皮膚の知覚障害や発汗障害等があります。和光園にある建物は、このような障害を持った状態でもうまく生活できるよう工夫されています。長い廊下や滑りにくい床、明るさを落とした照明、年間を通じた温度や湿度の調整などがなされています。入所者は和光園を“終の棲家”と決め、医療だけでなく、看護・介護を含めた高齢者福祉を受けながら毎日の生活を送っています。

沿革

- S18. 4 定床100床が完成し、名称を「奄美和光園」と定めた。
 - S19. 3 入所者19名で開園式挙行するも、戦争激化とともに入所者は離散し、終戦となつた。
 - S21. 2 いわゆる2.2宣言により、奄美群島は沖縄と共に行政分離され、米軍統治による群島政府管轄となつた。
 - S22. 2 特別軍政布告第13号「らい患者強制収容布告」が発せられる。
 - S23. 9 沖縄愛樂園より103名引き揚げ入所。入所者は一躍約300名超となつた。
 - S24. 4 入所者自治会（和光園）発足。
 - S25. 2 全員に治療薬プロミン注射開始。
 - S28. 8 らい予防法、改正公布（法律214号）。
 - S28.12 本土復帰、再び厚生省に移管。
 - S43. 4 皇太子同妃殿下の行啓。
 - S46. 4 高松宮同妃殿下ご来園。
 - S47.10 昭和天皇皇后両陛下行幸啓。
 - S58. 3 一般外来保健診療開始。
 - S63.12 人事院総裁賞を受ける。
 - H 8. 4 らい予防法廃止に関する法律実施。
 - H10. 7 らい予防法違憲国家賠償訴訟、提訴
 - H13. 5 国賠訴訟・熊本地裁判決、国控訴せず確定
 - H14. 1 和解に関する基本合意書、調印
 - H14. 4 社会復帰支援事業施行
 - H15.11 天皇皇后両陛下行幸啓
 - H17.12 和光トンネル（1820m）開通
 - H23. 2 日本医療機能評価（Ver 6.0）認定
 - H25. 4 一般入院保険診療開始（皮膚科）
 - H25.11 創立70周年祝賀式典
 - H28. 5 日本医療機能評価
- 一般病院1 < 3 rdG: Ver 1.1 > 認定

一般診療

当園では、皮膚科の一般外来・入院診療（H25.4.1より一般入院制度を導入し）を行って地域医療へ貢献すると共に、開かれた和光園をめざして努力しています。



診療科: 皮膚科(完全予約制)

診療日: 月曜、火曜、金曜（祝日、年末年始を除く）

診療時間: 13:00～17:00

手術日: 木曜日(予約制)

予約受付時間: 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

9:00～11:00

13:00～17:00

看護課では、「その人らしさを大切に」をモットーに入所者の看護・介護を行っています。入所者はハンセン病後遺症や合併症のため重複障害を持ち高齢化も進んできています。入所者一人ひとりが「自分らしく生活している」と実感できるように看護師・介護員だけでなく多職種と連携して生活支援を行っています。

看護単位は治療棟・不自由者棟・病棟の3単位です。治療棟（外来）は入所者の外科・耳鼻科・歯科・眼科領域の診療援助と生活援助を行います。また一般舎入所者訪問を行い健康に関する相談や介護員による家事・身体援助も行っています。不自由者棟では個々の不自由度に合わせ日常生活の援助を行っており、病棟では、入院された入所者の方の治療がスムーズに行われると共にQOLが保てるよう個別性を大切にした看護を提供しています。

また、一般外来では地域住民の方々への皮膚科の診療が行われています。平成25年度からは一般皮膚科入院制度が導入され一般病床が4床あり、地域住民へ質の高い看護サービスの提供ができるよう日々努めています。

豊かな自然環境の中、

ふれあいを大切に…



現在、和光園の入所者は19名（R 3.4.1現在）ほとんどが奄美群島出身で、在園年数約55年、長い間故郷を離れ、生活を送っています。

園内では、夏祭りやクリスマス会などの催しが行われ、園外では、ショッピングやバスレクリエーションなどの活動を行っています。

また、畑仕事に汗を流す方もあり、園内の菜園には、常に季節の野菜や果物が実っています。

奄美では多くの人々の理解と協力があり、地域社会との温かい交流が続いている。